

《令和二年度入学式の記録》

令和二年度新入生へ向けた祝辞

佐々木 重人
(専修大学長)

まず初めに、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、新入生・在学生・関係各位の安全および健康に最大限配慮するため、四月六日に予定していた入学式の中止をはじめ、各種ガイダンスや授業等の日程、実施方法の変更を決定しました。どうか事情をご理解いただきたくお願い申し上げます。

あらためまして、新入生の皆さん、専修大学によるこそ。とりわけ、本学創立一四〇周年を迎える本年度に新設された国際コミュニケーション学部そして経済学部の現代経済学科および生活環境経済学科に入学された皆さんには、それぞれの学部学科の第一期生としてのプライドを持ち、新しい本学の顔となっていただくことを期待しております。

本学が二一世紀ビジョンとして掲げる教育ミッションは、「社会知性の開発をめざす」こととしております。「社会知性の開発をめざす」とは、皆さんが専修大学で身につける知識や技能を自分だけのものとして完結させるのではなく、皆さん自身が他者との連携や協力関係の中で生かされることを認識し、その知識や技能を家族や所属する組織、地域、そして社会の諸課題解決のために積極的に活用していくマインドを身につけることを意味しております。そのために本学は、深い人間理解に繋がる教育、倫理観を重んじる教育、独創的発

想を促す教育、そして地球的視野を持たせる教育を基軸に置いたカリキュラムポリシーを採用しております。

社会における諸課題を地球レベルで可視化したものとして、SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称）が挙げられます。二〇一五年に国連サミットにて策定されたSDGsは、誰ひとり取り残さないことをめざし、先進国と途上国が一丸となって二〇三〇年までに達成すべき国際社会共通の目標とされており。

本学は、SDGs達成にも繋がる「社会知性の開発」をめざした取り組みをさまざまなレベルで展開しております。皆さんも所属する学部・大学院・法科大学院での学修内容の修得とともに、それらと連動するSDGs達成への意識を強く持っていたいだきたいと思えます。最後に、今後の神田・生田両キャンパスそれぞれの特徴付け、換言すればブランド価値の形成は、皆さんの活躍が源となることをお伝えし、歓迎の言葉といたします。